

第3回 学校運営協議会 議事録

日時：令和8年2月20日（金）14:00～15:20

場所：岡山県立瀬戸高等学校 会議室

出席者：委員9名のうち8名が出席

1. 開会・会長挨拶

- **会長挨拶**：2月は生徒の進路が確定する重要な時期である。地域を代表する普通科高校として、生徒が自信を持って「瀬戸高生」と言える学校であってほしい。
- **地域情勢への言及**：私立高校の授業料無償化の影響など、公立高校を取り巻く厳しい環境についても注視していく必要があるとの認識が示された。

2. 出席者紹介

- 名簿により確認。

3. 協議

・学校の現状と取組に関する説明

- **校長**：
 - **行事の充実**：修学旅行（11月）、探究発表会「冬のセト☆フェス」（12月）、ウォーキング大会（1月）を無事実施。
 - **心の通う支援**：ウォーキング大会ではPTAから「ポトフ」の炊き出しがあり、生徒の心と体を温める温かい支援となったことが紹介された。
 - **国際交流**：女子ホッケー部がニュージーランドのチームと交流し、弁当を食べたりダンスをしたりと、スポーツを通じた草の根の交流を深めた。
 - **入試・広報**：特別入学者選抜の倍率は1.75倍だったが、全体の定員充足には引き続き努力が必要である。
 - **次年度計画**：DXハイスクール事業3年目の継続、および「生成AIパイロット校」指定に向けた準備を推進する。
- **教務課**：ICT活用授業への教員の肯定的評価が91%に達し、DXが着実に浸透。11月のHPリニューアル後、アクセス数が増加している。
- **生徒課**：瀬戸高祭において、生徒会が掲げた「熱中症・体調不良者ゼロ」という目標を達成。一方で、校内でのスマホ利用ルールの徹底など、規範意識の向上が今後の課題。
- **進路指導課**：推薦・総合型選抜ですでに21名が国公立大学に合格。3年次の学習時間が大幅に増加し、受験に向けた集団としての意識が高まっている。
- **厚生課**：1泊2日分の防災備蓄計画を策定。地域の防災活動との連携をさらに強化したい。

- **教育 DX 推進室**：本日の会議でも「AI 議事録」を活用しており、業務効率化と学びの質向上の両立を実演した。
- **1年次**：入学から1年が経ち、生徒の成長を実感。週の学習時間は自己申告で平均120分程度だが、基礎学力の定着にはさらなる意識付けが必要。
- **2年次**：思いやりの心で他者と接することや気持ちのよい挨拶をすることは9割が肯定的な回答であった。一方で「やる気はあるが行動に移せない」という生徒のジレンマをどう解消するかが課題。
- **3年次**：挨拶や相手を尊重する気持ちは9割が肯定的で、進路目標の実現のために考えて行動できた生徒も9割超であった。
- **主幹教諭**：本年度の学校経営目標計画の最終達成状況とそれぞれの評価案及び総合評価について説明。

・質疑応答（意見含む主なもの）

- ・ **委員**：生徒の個々のペースに合わせた学習支援が重要である。
- ・ **委員**：私立大学の進学状況や就職状況について質問があり、県内私立大学への進学が以前より厳しくなっている一方、コロナで減っていた県外への進学者は増加していると回答。
- ・ **委員**：教員志望者の動向についての話があり、民間企業への就職を選ぶ大学生が増加している現状について説明あり。

4. 意見交換（委員からの主な意見・感想）

- **【地域連携・広報について】**
 - **委員**：瀬戸高生が中学校の生徒会役員選挙でプレゼンをしてくれた。非常に好評で、瀬戸高を志望する中学生が増えている。身近に良いモデルがいるのはありがたい。
 - **委員**：生徒は挨拶をすれば元気に返してくれるし、話すとても楽しい。先生方が一人ひとりを大切にしてくれる学校であることを、もっと外部に発信してほしい。
- **【教育内容・DXについて】**
 - **委員**：AI 議事録の導入など、DX のスピード感に驚いている。AI はあくまで人間がより良く生きるための「ツール」として教育に取り入れてほしい。
 - **委員**：最近、ノートを自分で書かずにスマホで黒板の写真を撮るだけで済ませる生徒が増えているのではないか。自分の手で書き、自分の言葉で伝える「論理的思考力」や「文章力」の育成も、時代が変わっても守り続けてほしい。

- **【学校環境について】**
 - 校長より、校舎の老朽化についても経営計画の中で触れ、改善の必要性を訴えていく方針が示された。
-

5. 閉会

- 今年度の自己評価（B 判定案）について、各項目とも順調に進捗しているとして承認された。
- 次年度のさらなる飛躍を期待し、閉会となった。